

第 1 回 桑名市行政改革推進委員会 会議概要

| | |
|--------------|---|
| 日時・場所 | 平成 29 年 11 月 21 日(火) 13:30 ~ 15:30 桑名市役所本庁舎 3階 第2会議室 |
| 出席者 | 委員： 6名 市： 4名 事務局： 14名 |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 市長あいさつ 2 委員紹介 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度（現在）までの取り組み状況 (2) 公民連携対話窓口「コラボ・ラボ桑名」提案の実績報告 4 議案 <ol style="list-style-type: none"> (1) 駐車場使用料について (2) 公共施設マネジメントの推進について (3) ネーミングライツ・パートナーシップ提案 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回開催について |
| 概要 (主な意見) | <ol style="list-style-type: none"> 2 委員紹介 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について <ul style="list-style-type: none"> ・委員長に丸山康人委員、副委員長に吉島隆子委員が決定した。 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度（現在）までの取り組み状況 <p>【ヒト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識の向上を目指すため、官民交流、ヒトを受入れるため、柔軟に対応する仕組みを検討して欲しい。全国的に見ると、官民交流制度の平成 28 年度実績は 5,200 人に増加したようである。 ・「職員が増えたから良い、悪い」ではなく、お金の面で採算が取れるような人材配置・資産配置をお願いしたい。 <p>【モノ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「10 年間で総量（延床面積：6.6%）削減」に対して、平成 28 年度の実績を確認すると、0.03%（125.88 ㎡）の削減結果であった。この数値は、目標に対してはどうだったか。 ・資産は、行政目的を果たすためだけではない。減らすだけでなく、稼ぐ視点も考えていただきたい。 |

【カネ】

- ・ 経費削減や補助金の削減など、ネガティブな取り組みが多いように感じる。固定資産の税率を上げた自治体があると聞いた。財政という観点から、支出よりも収入を増やす取り組みも検討して欲しい。
- ・ 固定資産税の増加という観点では、地価を上げる取り組みに力を入れると、自ずと税が増える。

【総論】

- ・ 内部管理職がしっかりと評価を行い、行政改革推進委員会に報告をしていただきつつ、コメントをしていただく仕組みを整えていただけると良い。

(2) 公民連携対話窓口「コラボ・ラボ桑名」提案の実績報告

- ・ 駅西地区も大体的に改変されることと実感している。官民連携で推進していくことは良いと思うが、どのような街並みになるかが分からない。そういった情報も広報誌などで、積極的に出して頂けたら有り難いと感じている。
- ・ 公民連携が進まない要因として提案企業の利益率が高いと聞く。適正な利潤も検討して、公共事業に貢献していただくように協議していただきたい。

4 議案

(1) 駐車場使用料について

- ・ 公平性・公正性の観点が重要であり、公共施設を利用する際も駐車場は原則有料にするべきと考える。1年間有料にするなどの社会的実験をしてみた方がよい。周辺相場を調査し、有料にした場合、駐車場利用者はどの程度いるかを調べた方がよいと考える。無料にする場合は、その根拠を整理する必要がある。
- ・ 近隣市町の相場を調査し、有料にするべきと考える。公民館等の施設の築年数は40年ほどのようだが、建替えも含めた検討も一つの方法である。
- ・ 公平とは何かを考えるべきである。現状、上限金額も設定されておらず、長時間駐車も見られる。よく回転する効率的なマネジメント方法を検討してはどうか。市民も利用者負担については、減免等で対応していけば納得すると思われる。
- ・ 施設の利用形態等により保護すべき利用者はいると思われるが、反対する人は少ないのではないかと思う。
- ・ 有料化は賛成である。しかし、今回の見直し対象の駐車場は駐車台数が少ないため、ゲート等のシステムを導入した場合に採算がとれるのか、経済効果はあるのか、といった問題点がある。これらをクリアーできるなら有料化しても良いと考える。あるいは、立地がよいため、駐車場と施設を一体で活用する案や交通政策とセットで活用する案等があれば、スケールメリットを出せる可能性もあるのではないかと考える。複合的に考えて政策立案していけばよいのではないかと思う。

- ・ 時代としては公共施設の駐車場も有料化する流れになってきている。しかし、9台のためにシステムを導入するのは適切とはいえない。とはいえこのまま無料を続けるのも公平性の観点で適切ではない。そのあたりをふまえて検討してほしい。
- ・ 可能性のある地区であるため、周辺商業施設も含めて公民連携してもよいと思う。施設利用者が駐車場に停めた場合は、帰りに買い物をしていくことも多々あり、相互メリットがある。そのような仕組みをつくってもよい。

(2) 公共施設マネジメントの推進について

- ・ 資料⑦「公共施設個別計画を進めるにあたって～公共施設マネジメント推進のためのルール化～」は、良くできている。
- ・ 資料⑦「公共施設個別計画を進めるにあたって～公共施設マネジメント推進のためのルール化～」は、分かりやすくできています。
ただし調整区域においては、本来建物を建ててはいけないものの、多くの公共施設が多く建設されており、全国的にも問題となっている。周辺と再度調整を進めていく必要があり、人口規模が縮小し、コンパクトシティを目指していくようであれば、将来的には元に戻すといった視点も必要ではないか。
- ・ 中央公民館、北庁舎については、他の公共施設を含め、地域一体でマネジメントしていくことを考えて欲しい。例えば、「中央公民館を定期借地で貸出をすること」や「現庁舎・北庁舎はポテンシャルが高い地域であるため売却を行い桑名市が入居する」など、課題解決のためにお金を回すこともできる。
桑名市の強みが活かせるよう、民間に興味を湧くような利活用の手法を示して欲しい。
- ・ サンファーレに関しては、駅の整備とのリンクを示すことが出来れば、民間からもより良い提案があがるのではないか。
- ・ 公共施設等総合管理計画を策定しても、エリアや時間軸にズレが生じる。そのことから、はじめは市の姿勢を示して、開発を行いながら（行政施設の集約地域を）民間と一緒に進めるのも1つの手法である。
例えば国土交通省は、技術提案・交渉方式を採用している。実際に40年間で320億円を投資する自治体もある。
- ・ 統廃合に賛成する市民は少ない。市民の合意形成の段階では、反対意見が出るのが予想される。そのため、施設にいくら掛かっているか、人件費も含めて説明をしていただくしかない。
- ・ 議会調整も重要であるが難しいと思われるため、市としての方向性を、将来像を含めて示していくのがよいと考える。
- ・ 何をもって合意形成とするかは、どこで覚悟を決めるかという政治的判断が重要になる。

| | |
|---------------------|--|
| <p>非公開議案</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を進めて行く際、可能であれば地元にお金が落ちる仕組みを検討して欲しい。そのためにも地元企業を巻き込むような提案や、インセンティブを与えるような仕掛けがあると面白い。 <p>(3) ネーミングライツ・パートナーシップ提案</p> <p>非公開にて審議</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |
| <p>担 当 課</p> | <p>総務部 財政課</p> |